

大島町被災者 第1回個別ヒアリング 概要報告 (平成26年4月22日実施分まで)

1. 個別ヒアリング調査の概要

1) 目的

- ・台風26号で住家被害を受けた被災者を対象に、現時点での困っていることや住宅再建に向けての意向、復興計画策定に向けた意見等を把握し、復興計画原案へ反映するため、個別ヒアリングを行った。

2) 対象者

- ・住家被害のあった罹災証明交付世帯 (約150件、元町地区優先)
 ※被災事業者及び岡田地区、泉津地区被災者ヒアリングは、今回のヒアリング終了後、実施することとしている。

3) 実施時期

- ・平成26年4月18日(金)頃から4月30日までを予定。

ヒアリングの実施状況

住家被害で罹災証明を 発行された被災世帯	ヒアリング対象件数 (a) ※	4月23日(木)までの実施 件数 (b) ※※	実施率 (b/a)
178世帯	149世帯	104世帯 (内1世帯拒否)	70%

※178世帯中18世帯が全世帯員死亡で再建意向を把握すべき該当者がいない、3世帯は島外へ転勤、8世帯は遺族が未成年または高齢者等で親族世帯に含めてヒアリングを実施したため、対象世帯数は現時点暫定で149件

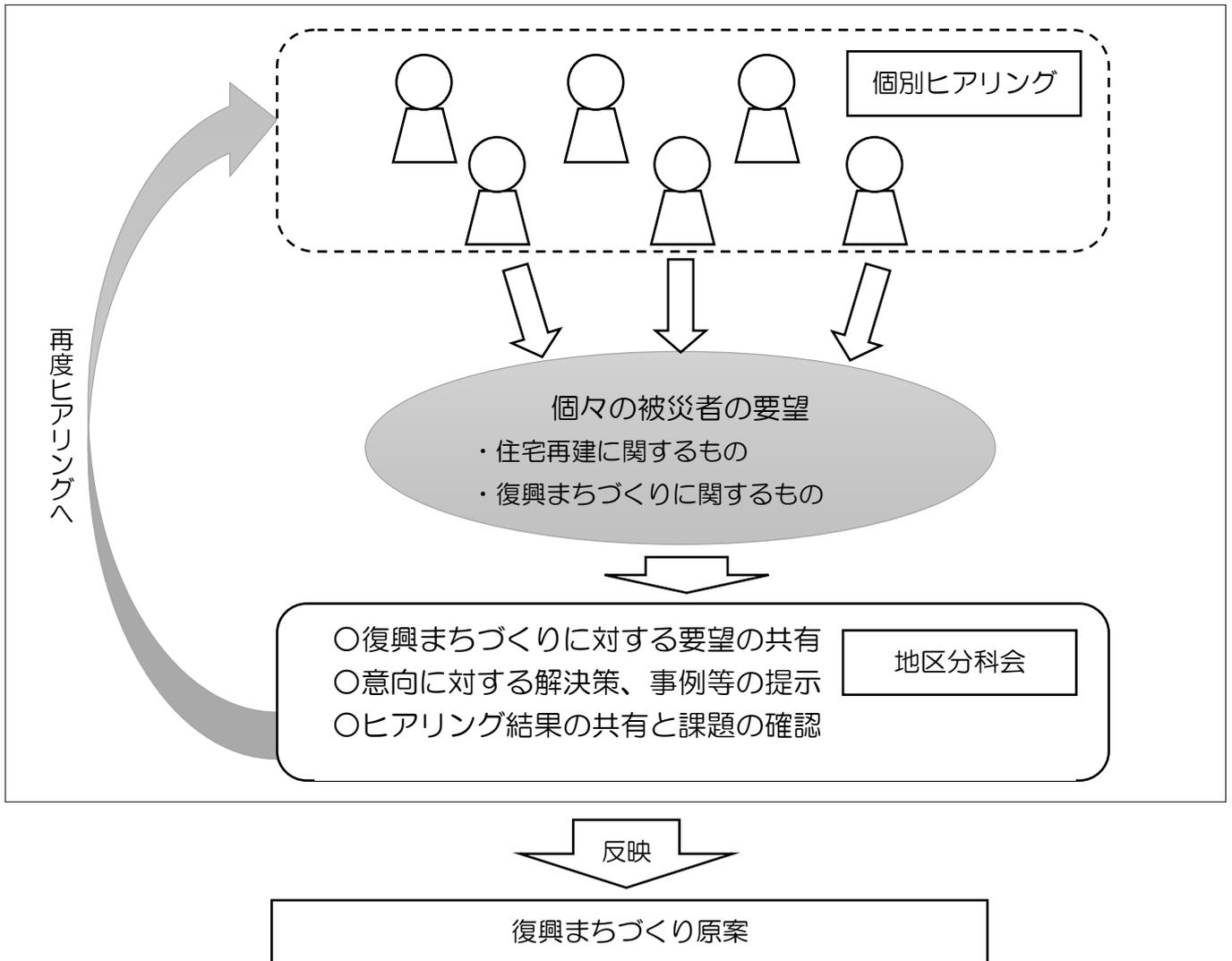
※※4月22日までに対象世帯は全世帯訪問しており、ヒアリング未実施の理由は長期不在または平日昼間の不在である。平日昼間不在の世帯に対しては都合を打診して休日に訪問することとしており、島外の対象世帯については、後日個々に対応する。

4) 実施体制

- ・町職員(管理職)を含む3名で班を構成。7班体制で実施した。

<被災者への段階的ヒアリングの実施イメージ>

- ・ヒアリングで得た被災者の意向を地区分科会へ示し、被災者間で共通認識を持ちながら住宅再建、復興まちづくりへの要望を取りまとめる。取りまとめ結果は復興計画原案へ反映する。



大島町土砂災害 第1回個別ヒアリング ヒアリングシート

整理番号

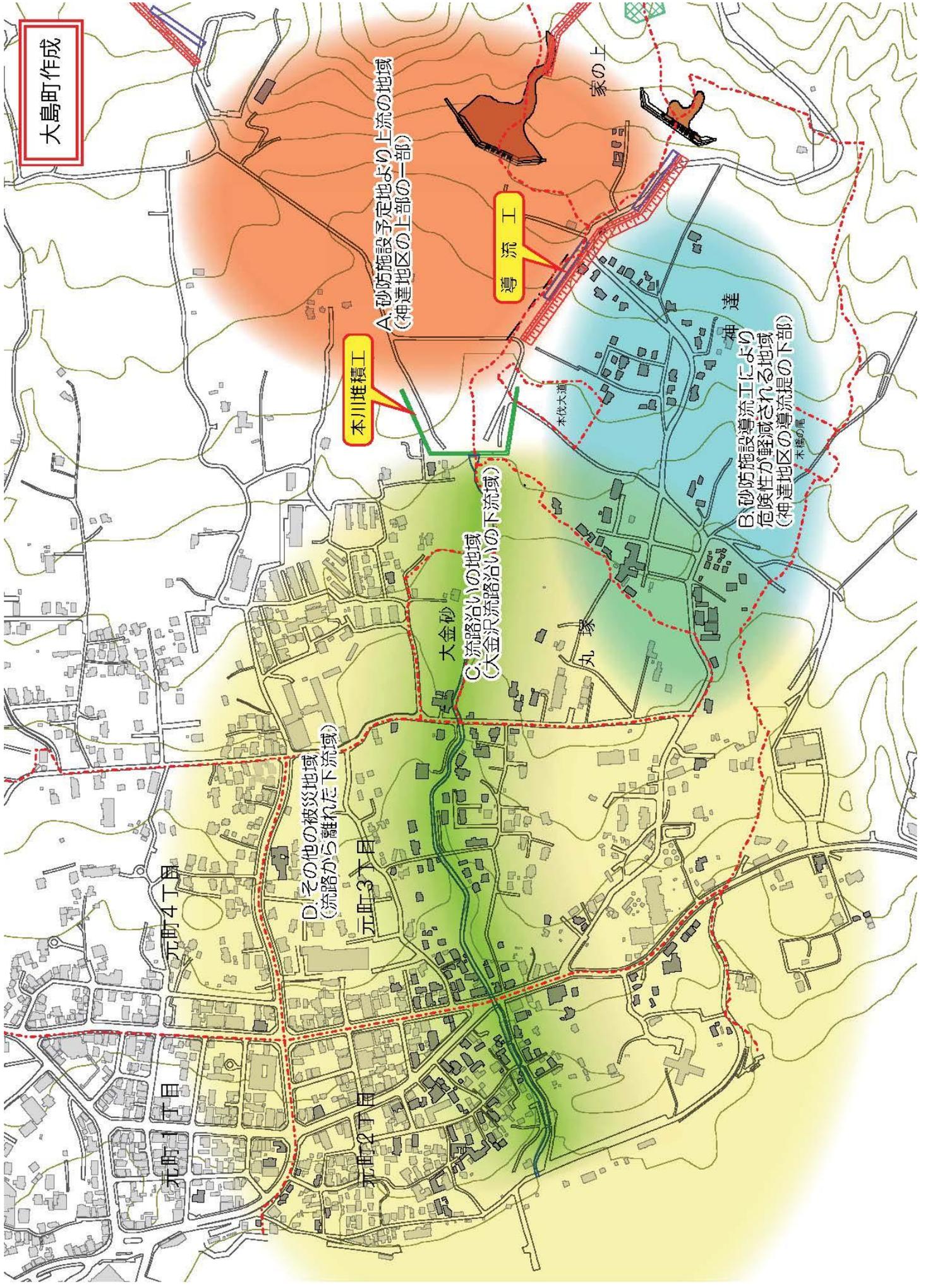
氏名	現住所	電話番号 () () ()
世帯主年齢	家族構成	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の世帯 4. 親・子・孫の世帯 5・兄弟、親戚 6. その他 ()
世帯主の職業 (被災時)	世帯主の職業 (現在)	
1. 農林業 2. 漁業・水産業 3. 自営業 4. 会社員 5. 公務員 6. 学生 7. 主婦 8. 無職 9. パート・アルバイト 10. その他 ()	1. 被災時と同じ職業 2. 被災時と異なる職業 () 3. 休業中 4. 求職中 5. その他 ()	
世帯の収入状況	被災した住宅の住所	
1. 収入あり 2. 収入なし 3. その他 ()	被災した住宅の住所 ヒアリング用区分図: A B C D その他 ()	
被災状況	被災状況	
1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 一部損壊 4. その他 ()	被災した住宅の敷地面積 約 () 坪 またほ 約 () m ²	建物用途 1. 専用住宅 2. 店舗や事務所との併用住宅 3. 作業所や倉庫との併用住宅 4. 民宿 5. 共同住宅 6. その他 ()
被災した土地や建物の権利関係	被災した土地と建物の両方を所有 3. 借家、アパート	建物規模 階数 () 階建 延床面積 ・住居 () 坪 ・住居以外 () 坪 m ² m ²
被災した住居の使用状況	1. 現在も居住している 2. 居住していない	
居住していない理由	1. 全壊のため 2. 修理しなければ住めない状態のため 3. 再度災害が不安なため 4. その他 ()	

現在困っていること	生活をす上で困っていること	1. 住宅の広さや間取りが使いにくい () 2. 住宅の断熱性や遮音性が低い () 3. 通院や買い物などが不便 () 4. 友人や近隣との交流が不足 () 5. 町や都からの情報が不足 () 6. その他 ()	整理番号
現在困っていること	生計を立てていく上で困っていること	1. 新たな仕事が見つからない () 2. 営業再開のめどがたたない () 3. 生活費の負担が重い () 4. その他 ()	
現在困っていること	健康上、不安に思うこと	1. 体調を崩しやすくなった【本人が、配偶者が、子供が、孫が、祖父母が】 2. 持病の悪化が心配【本人が、配偶者が、子供が、孫が、祖父母が】 3. 精神的に不安を感じる【本人が、配偶者が、子供が、孫が、祖父母が】 4. その他 ()	
現在困っていること	避難する上で困っていること、不安なこと	1. 避難時に保護してくれる人が必要 () 2. 避難先がわからない () 3. 避難勧告などの情報が伝わらない () 4. 避難先の施設が使いにくい () 5. その他 ()	
現在困っていること	その他、困っていること	【本人が、配偶者が、子供が、孫が、祖父母が】	
現在困っていること	今後住みたい場所	1. 被災した土地に戻って住みたい () 2. 前と同じ地区内の別の土地に住みたい () 3. 別の地区に住みたい () 4. 島外に住みたい () 5. その他 ()	
現在困っていること	住宅再建に向けて必要なこと	1. 住宅再建資金の支援 () 2. 再建用地のあっせん () 3. 貸家やアパートのあっせん () 4. 公営住宅の整備 () 5. その他 ()	
現在困っていること	被災した土地の今後の利用について	1. 自分の土地として所有し使いたい () 2. 自分の土地として所有し貸したい () 3. 売却したい () 4. その他 ()	

被災した地域について	被災した地域の今後の土地利用についての意見・要望	
	砂防施設や流路についての意見・要望	
	復興基本方針の柱についての意見	1. 被災者生活再建支援について
		2. 地域基盤、インフラの復旧について
		3. 産業・観光復興支援について
		4. 防災まちづくりについて
	元町地区まちづくり分科会への参加について	1. 分科会に参加したい 2. 分科会の経過をチラシ等で知らせしてほしい 3. その他（ ）
	大島全体の復興に向けての意見・要望	

復興計画策定への意見

居住している地区の復興についての意見・要望	
その他	



大島町作成

A 砂防施設予定地よりの上流の地域
(神達地区の上部の一部)

導流工

本川堆積工

C 流路沿いの地域
(大金沢流路沿いの下流域)

B 砂防施設導流工によりの
危険性が軽減される地域
(神達地区の導流堤の下部)

D 其他の被災地域
(流路から離れた下流域)

丸町4丁目

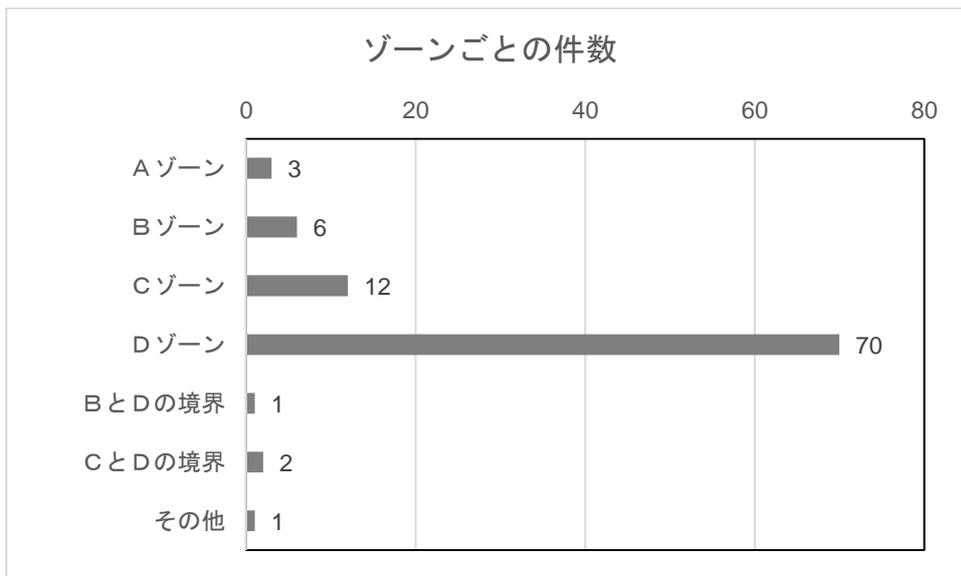
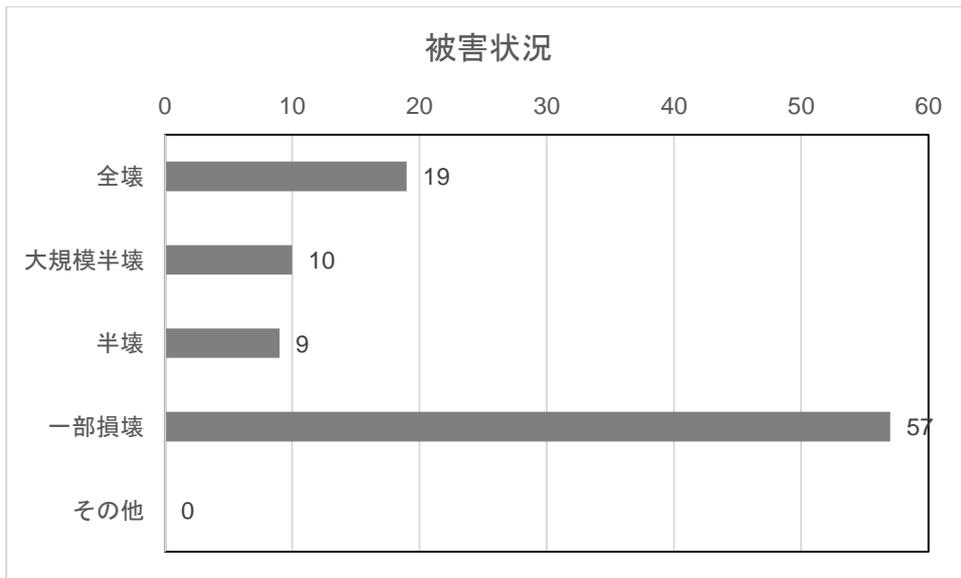
丸町3丁目

丸町2丁目

丸町1丁目

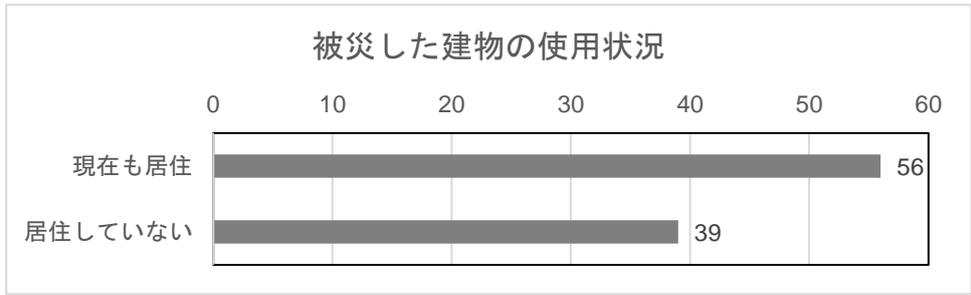
2. 結果概要

※4月22日までにヒアリングを実施した95件の意向の概要

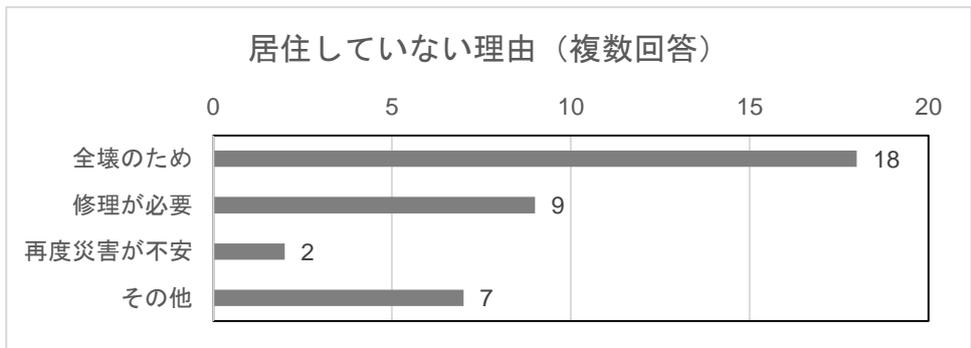


	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	Dゾーン	BとDの境界	CとDの境界	その他※	合計
全壊	2	1	4	11	0	1	0	19
大規模半壊	0	1	2	7	0	0	0	10
半壊	0	1	0	8	0	0	0	9
一部損壊	1	3	6	44	1	1	1	57
合計	3	6	12	70	1	2	1	95

※その他の1件は、ヒアリングに用いた区分図の範囲外



	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
現在も居住	0	3	3	50	56
居住していない	19	7	6	7	39
合計	19	10	9	57	95



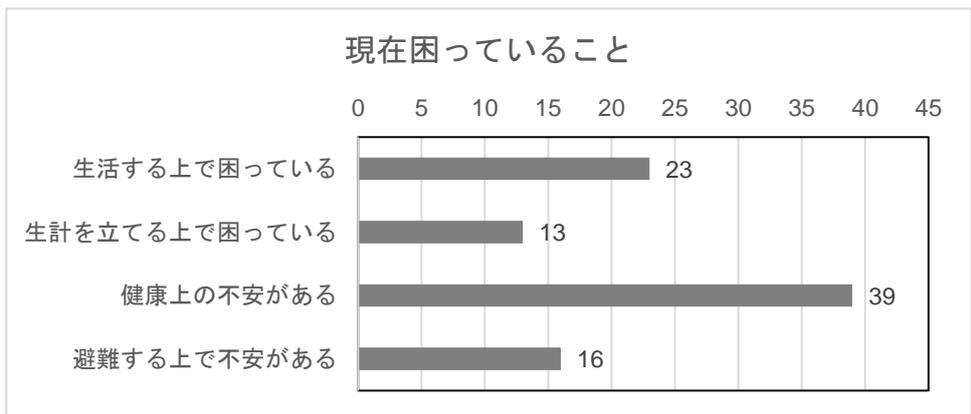
○「その他」居住していない理由

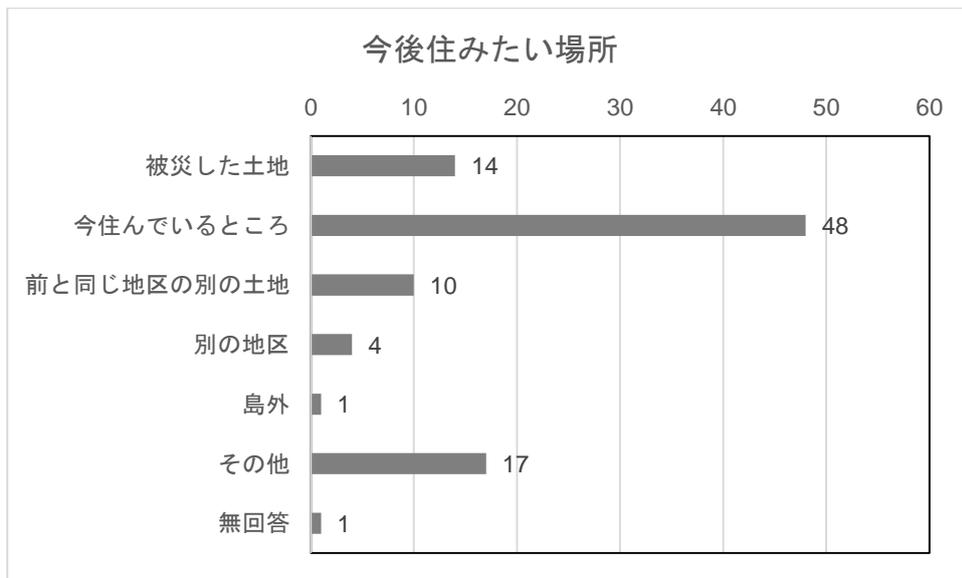
解体した 3

借家だったので別の家を借りて転居 2

復興の見通しがたたないから 1

長期避難認定地区だから 1





	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
被災した土地	4	1	2	7	14
今住んでいるところ	1	3	3	41	48
前と同じ地区の別の土地	6	1	0	3	10
別の地区	1	1	0	2	4
島外	1	0	0	0	1
その他	6	3	4	4	17
無回答	0	1	0	0	1
合計	19	10	9	57	95

砂防施設や流路についての意見・要望

大金沢の流路について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流路を拡幅や線形の改善、河床を深くするなど対策を行ってほしい ・ 他の流路を大きくいして大金沢の負担を減らせないか。
東京都の土砂災害対策の方針では不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当に安全になるか不安を感じる。
早急な安全確保を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早く安全になるようにしてほしい。
都の方針でよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂防施設が整備されれば安心できる。
平常時の安全対策を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが遊んでいて危険なので流路沿いに手すりを設置してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で自分を守る必要がある。 ・ 専門的なことはわからない。 ・ 個人がばらばらに意見を述べても仕方がない。 ・ 災害の時の状況